

奧大利は伊太利、佛蘭西、獨逸の虎視眈々たる策動によつて、二月にウイン暴動、七月にナチスの首相暗殺と打撲いて懸然たるものがあり、こゝに歐洲の政局に戦争の機運が低く暗くたれこめてゐる。

以上の如く全世界の資本主義諸國は、恐惶より脱する道を、ひた向きに資本主義獨裁の傾向によるインフレーションと、樞關統、大砲、戦艦の武装に依つてそれらの經濟プロットを確立しようと努力してゐる一方、其の領土の廣大なる點に於いて英國に次ぎ、天然資源に恵まれてゐる點に米國とともに世界有數なる蘇聯邦は、其の獨自の社會主義的經濟機構によつて、第一次五ヶ年計畫を終り、第二次五ヶ年計畫を現在着々として遂行し、資本主義諸國のアガキを外に、獨り經濟的發展の急角度の進行を見せつゝある。この事實は如何なる階級を代表するものと雖も否定し去り無視することを得ない事實であり、内の混亂を拾收するに急なる資本主義諸國は、露國の國際聯盟への加入に努め米國は遂に露國と正式國交を結ぶに至り、經濟政治體政の異なる露國の存在は既に厭たるものとしてそびゆるに至つた。

たゞ滿洲國を中心として蘇滿の國境には武力的な對峙が持たれ、こゝに××の危機は何時爆發するかも計り知れざ

る状態にある。

## 二、日本の經濟的政治的諸狀勢

前大會より本大會に至る期間に於ける、日本資本主義の經濟状態は、恐惶の最低位より脱し、資本主義諸國の苦境をよそに、獨り景氣へ好轉をなした。勿論其の中には幾多の矛盾と、再び恐惶へと逆戻りをなすべき多くの條件を含んではおるが、兎に角一應恐惶より景氣面へ轉じたことは事實である。

此れを工業生産指數より見れば七年四月一二は九年十二月には一四九を示してをり、物價は漸騰し、輸出貿易は綿糸綿布を主とし、人絹其他雜貨類に至る迄、すばらしき躍進を見た。

この躍進の原因を數へ上げるならば、一、デフレッション政策によつて事業の整理、生産費の可及的引下げ。二、操短の盛行、カルテルトラストの結成。三、金利低下等々幾多の要因を擧ぐる事が出来るであらう。

然し乍ら此等の要因の外に、一、財政インフレーション。二、圓價の低落。三、貨銀の低廉等は日本の經濟を今日の活氣に導いたのである。

滿洲事變が起り、續いて三五年三六年の危機が叫ばれ

るに及んで軍事費は巨大な増額を見せ、時局匡救のための繼續的な財政的支出によつて、統制インフレーションは遂行された。此の結果就中軍需工業は未嘗有の活況を示し、其の收益も二倍或は三倍以上の増加を見るに至つた。

この事業界の活況によつて労働者階級に與へた影響は、失業者の幾分の減少である。勿論この減少は二百萬といはれる失業者の幾分か救はれたのみであつて、大衆的失業は家族制度の陰にかくれて存在し、一方就業労働者は労働時間間の延長によつて搾取を強められ、定額賃銀は逆に減少を來たしてをるのであつて、日銀の調べによる指數は八年一月八六、五が九年四月には八三、〇を示してゐることによつて明かである。

吾國の對外輸出の増進が對外國爲替の下落にあることはこゝに述べる必要はあるまい。然しこれのみによつて輸出が増進せられたとなすと云ふならば、吾國工業の優位性のみによつて輸出の増進が引起されたとなす資本家的見解に過ぎないのである。

吾國労働者の賃銀の低廉——社會立法協會調——それは實に平價に換算しても英國の労働者が受ける一時間の賃銀は、最低四十三錢強、最高八十八錢弱に比較するときに、吾國の労働者が平均二十二錢強に過ぎず、時價に換算する

ときは英國労働者の最低は七十三錢強、最高は一四四十九錢強であり、或は亦吾國輸出の大宗たる紡績工業の女工の賃銀と英國の紡績女工の賃銀と比較するときは尙甚だしき相違が見出されるであらう。

實に吾國の輸出の増進は右の如く、労働者階級の低廉な賃銀と、強度の搾取の上に樹てられたものであつて、これこそ最も惡質なるソシアルダンピングであるのである。

一方農村は負擔の重壓の下に、生産費にすら及ばない米價にあへいでゐたが、米穀統制法によつて僅に活力を與へられるものとの希望は、少數の地主と米穀商を肥らしたのみで、米を作る農民が米を喰へない飯米飢饉の下にさらされてをる。

又政府が奨励し保護を與へて成長せしめた農村の産業組合は、都市資本家の強き反對を受け、今や農村は右にせんか左にせんかの没落の危機の下に追込まれてゐる。

かゝる經濟状態の上にある政治的、社會状態はどうであつたか。

先づ軍事費の増大と軍備強化のためには、凡ゆる犧牲が民衆の上に強ひられた。六十五議會においては軍事費の爲めには、憂根すべき状態にある農村を救ふための支出は一顧だにもせられなかつた。之れに反して資本家階級のため